

2025 年度活水女子大学入学式 式辞

学長 広瀬 訓

活水女子大学に入学された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、ご多忙の中、本日はご列席いただいておりますご家族並びに関係する皆様方にも心より感謝を申し上げます。新入生の皆さんは、これからのキャンパスライフへ、大きな期待と希望を持って入学式に臨んでいるものと思います。

もちろん、新入生の皆さんにとっては、「大学」はまだ知らないところ、未知の場所であり、そこで出会うのは未知の体験のはずです。皆さんは、期待と同時に、これからの大学生活に対して、不安をもっているかもしれません。しかし、これからの大学生活、主役は皆さん一人一人です。大学生活でわからないこと、困ったことがあった時には、遠慮なく教員、職員に尋ねてください。私たち、教員、職員は、皆さんの力となるために全力を尽くします。

活水学院は、146 年前に、エリザベス・ラッセル先生という、アメリカ人の女性宣教師によって建てられました。ラッセル先生は、日本にキリスト教を伝え、日本の女性に教育の機会を作るという信念を持って、周囲の懸念や反対を押し切り、43 歳で来日し、まったく初めての国で、日本語もわからないまま、到着からわずか一週間後に、一人の生徒を相手に教え始め、それから 40 年、この地で教育を続けました。その間、どれだけの問題や困難に直面したことでしょうか。しかし、ラッセル先生は自分の選んだ道を、喜びを持って歩き通されました。それ以来、活水の卒業生には、「日本で初めて」、「女性として初めて」と言われた方が何人もいます。それは社会的に大きな業績を残したということでもあります。私はそれ以上に「自分の選んだ道をたゆまずに歩き続けた」という点で、ラッセル先生の精神を受け継いだ人たちだと思います。大切なのは、成し遂げたことが大きいのか、小さいかではなく、胸を張って「これが私の選んだ道です」と言えることだと思います。その第一歩をここ活水女子大学で踏み出してもらえらるなら、これ以上の喜びはありません。

皆さんの中には、すでにしっかりと将来の夢を描き、それを実現するために大学を選んだ人もいます。また、まだ自分が何をしたいのかわからないままに入学し、大学生活を通して夢を探そうとしている人もいます。すでに持っている夢、これから見つける夢、それを大切にしてください。たとえそれが小さく見えるような夢であっても、私たちは真剣に努力する学生を全力で支えます。また、大きすぎて不可能だと思えるような夢であっても、実現へ向けて努力する学生を全力で励まします。私たちは、それが小さくとも、大きくとも、学生の夢を大切にしたいと心がけています。それはラッセル先生が一心にご自身の夢を追いかけることで、活水学院を建てられたことを知っているからです。新入生の皆さんにも、自分の夢に向かって、大きく羽ばたいて欲しいと期待しています。

私は、大学生活の主役は、皆さん方、学生一人一人であると言いました。それだけではありません。皆さんの人生の主役もまた、皆さん一人一人なのです。私たち、教員、職員は、これから先、皆さんに様々なことを伝えます。皆さんの疑問、質問に答えます。皆さんが悲

しんでいる時に慰め、皆さんがしり込みしている時に励まし、皆さんが嬉しい時に一緒に喜ぶこともあるでしょう。あるいは皆さんが間違えそうな時に厳しく叱ることもあるかもしれません。しかし、皆さんの代わりに皆さんの人生を生きることはできません。

皆さんは、自分の人生を、自分で歩いていくのです。自分の人生は、自分で決め、自分で責任を取る以外にありません。これから先、皆さんは、大学で様々な授業を選択し、資格を取り、職業を選んでいくことになります。また、結婚し、家庭に入る人もいるでしょう。その人生の一つ一つの選択は、最終的に自分で決めるしかないのです。そして、その結果に対して責任を負うのは自分しかいません。私は新入生の皆さん一人一人が、自分の人生の主役であるという自覚を持ち、自信を持って自分の道を選び、進んでいけるような人になって欲しいと願っています。

くり返しになりますが、活水女子大学の主役は、皆さんです。そして、皆さんがそれぞれの夢を追い求めてゆく中で、一人でも多くの学生が、叶うならばこの大学で学ぶすべての学生が、「活水女子大学で学んでよかった」と、自分の選択の正しさを確信してくださることが私の願いです。私たち教員、職員もそんな学生生活を支えたいと、日々努力しています。

みなさんのこれからの学生生活が、実り豊かで、喜びに満ちたものになるように、主のお導きと、お守りとがありますようにお祈りいたします。

これをもって学長の式辞といたします。

2025年4月2日 活水女子大学 学長 広瀬 訓